

病院長からのメッセージ 「セカンドオピニオン」

病院長 泉 良平



富山市民病院が定めた「患者権利章典」には、自己決定する権利があげられていますが、その中に、患者様はご自分の意志に基づいて、検査・治療その他の医療行為を受けるか、あるいは拒否する権利を持つことが明記されています。そして、さらに、診療に際して、担当医以外の、別の医師の意見(セカンドオピニオン)をお聞きになりたいという希望を尊重することをあげています。

ご自分の受けられる医療行為について、現に診療している医師以外の、他の医師の意見を求めるのが「セカンドオピニオン」です。セカンドオピニオンとは、そのままに訳すれば、「2番目の意見」となりますが、「セカンド」には「補佐する、支援する」という意味もあります。セカンドオピニオンを求められた医師は、ただ単に、医療についての専門的な知識をお伝えするのみならず、皆様の病気を癒すために必要な意見を述べて、病とたたかわれる患者様を支援する、という意味にもつながります。

医学的知識に普段から興味がある方でも、広い範囲の医学知識を得ることは到底出来ることではありません。病院には、内科だけでも、消化器・呼吸器・循環器・脳神経・腎臓・糖尿病・血液などの多くの専門診療科があります。医師は、それぞれ専門的な医学知識を日々獲得し、診療を行っています。それぞれの診療科には学会があって、医療スタッフはそれらの学会や研究会にでかけ、また専門医学書を読んで、医学知識・医療技術を得る努力を行っています。

実際に、病に冒されたときに、患者の皆様が、どれほど医学的な知識を得ようと努力されても、正しい知識を得ることは大変困難であると思います。なんとか医学知識を得ようとして、書店や図書館で知識を得ようとするのかもしれませんが、時には、誤った知識を得てしまうことさえあるのではないのでしょうか。

ご自分が思いもよらない病気であると診断され、手術などの治療を受けねばならな

いときには、大きな不安を感じられると思います。そのようなときに、医師から説明を受けても、はたして、それが本当にご自分のためになるのかについて疑問をもたれても、それは正しい考え方であると思います。そのような際に、別の医師の意見をお聞きになることによって納得できれば、不安なく治療を受けることができます。また、私達医師にとっても、信頼されて医療を行うことが出来れば、大変やりがいもあります。それらの結果、病を癒すことが出来ます。不安の中で、つらい検査や手術を受けられることは、回復への妨げともなります。

病気は、診察の他に、血液検査や放射線診断などの多くの情報にて診断されます。他の医師の意見をお聞きになりたいときに、これらの情報を資料としてお持ちになれば、検査を重複して受けていただくことなく、正確に診断され、意見を得ることが出来ます。放射線検査を重ねて受けられれば被爆量が増えることにもつながり、かえって健康を損ねることにもつながりかねません。体に負担がかかる検査であればなおさらのことです。他の医師の意見をお聞きになりたいときには、その旨を医師にお伝え下さい。医師は資料を整理し、紹介状を書いてお渡しすることになります。患者様の資料は、決して病院のものではありません。患者様ご自身の為なのであり、遠慮されることなく、「セカンドオピニオン」をお申し出下さい。

勿論、他の医療機関の診断についての「セカンドオピニオン」にも、富山市民病院はお答えしています。医師に、「セカンドオピニオン」を希望されるとお伝えください。セカンドオピニオンを理解しない医師は、ほとんどいないと思います。ご自分の健康を守るために、少しの勇気を出し、納得して治療を受けられることをお勧めします。

写真:「京の紅葉」より

中村 勇さん作(11月24日よりふれあいギャラリー一展示予定)

目次

■病院長からのメッセージ 「セカンドオピニオン」	1
■診療科紹介 胸部血管外科	2
■連載企画 旬をたのしむ⑤「フロッコリー」	3
■連載企画 病棟だより⑨「西病棟4階」	4
■連載企画 検査値の見方⑦ 「検査値の変動と精度管理」	4
■国際医療交流	5
■連載企画 病院を支える専門職⑤ 「高度医療を支える病院図書室」 病院図書室司書 高田幸子	5
■特別寄稿 「富山市民病院新築移転から満 21年を迎えて」 副院長 千鳥哲也	6
■連載企画 医療相談Q&A⑤ 「訪問看護」	6
■新任医師紹介	7
■解説 患者権利 ②平等な医療を受ける権利と 最善の医療を受ける権利	7
■今月のふれあいギャラリー	8
■今月のイベントと院内の動き	8
■編集コラム	8



■診療科紹介 胸部血管外科



草島 義徳
(くさじま よしのり)
胸部血管外科部長
薬剤部主任部長

●専門領域：
胸部外科（呼吸器外科）、血管外科、甲状腺外科
●資格・学会：
日本呼吸器外科学会専門医・指導医・評議員
日本胸部外科学会指導医
日本外科学会指導医
日本呼吸器学会指導医
日本呼吸器内視鏡学会指導医
●モットー・患者さんへの一言：親切で、やさしく。ベストの治療をめざします。



川原 洋平
(かわはら ようへい)
胸部血管外科医師
平成15年卒

●専門領域：
外科
●モットー・患者さんへの一言：患者さんが手術を受けて、お元気になって退院されるのを見るのが喜びです。

富山市民病院 胸部・血管外科は当院の基本理念である「質の高い医療の提供」「開かれた信頼される病院を目指す」の精神で、日々診療にあたっています。診療および手術は学会が認定した指導医、専門医が行い、治療方針は患者さんの術後QOLを重視し、内科、放射線科、病理科などとの相互検討会により決定しています。またインフォームドコンセントを十分とり、個々の患者さんに最も適した治療法を選択するように心がけています。術後の長期的経過観察の必要性を考慮し、開業医の方々と共同主治医制、すなわち病診連携にも力を入れています。

診療実績

当科は日本胸部外科学会指定施設、日本呼吸器外科学会認定施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設です。最近5年間の平均延入院患者数は年間約6800人、一日平均約20人、手術件数は年間約200件です。当科で取り扱う病気を下表に示しますが、これらの病気の外科的治療を行っていますが、カメラと小切開を併用した侵襲度の少ない安全な手術、気管支形成術を取り入れた肺機能の温存できる方法、



瀬川 正孝
(せがわ まさたか)
胸部血管外科医長
診療情報室長

●専門領域：
呼吸器外科
血管外科、甲状腺外科
●資格・学会：
日本外科学会指導医・専門医
日本呼吸器外科学会専門医
日本胸部外科学会認定医
日本呼吸器内視鏡学会認定医
日本消化器外科学会認定医
●モットー・患者さんへの一言：明るく元気で、声が大きいのがとりえです。

血管病にはバルーン拡張術やステント挿入術などの最先端技術を併用した手術などを行っています。

一方、精神的なこころづかいも大切にしており、患者さんに対する“やさしい気持ち”を忘れず、おもいやりのある診療を心がけています。

次に、代表的な疾患をいくつかご紹介します。

1. 肺癌

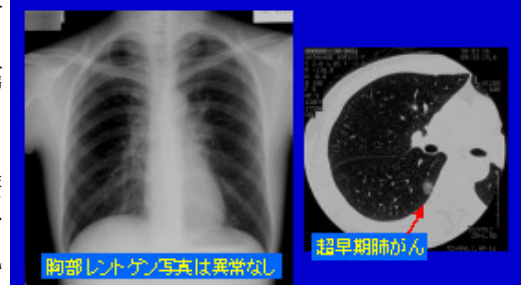
現在、日本人の最も高い死亡原因は悪性腫瘍によるものです。その中で最も多いのが肺癌で、毎年5万4千人もの人々が肺癌で亡くなっています。肺癌は癌の中でも大変悪性度が高く、発見された時にはすでに血のなかに混ざって脳、骨、肝臓などに転移していることが多いのです。これでは手術になりません。しかし数年まえからヘリカルCTが普及してきて、5mmから7mm前後の超早期肺癌が容易に発見されるようになって来ました。このような例では手術による肺切除量も少なく、入院期間も短くて、社会復帰も極めてスムーズに

当科で取り扱う主な病気

- 呼吸器疾患：肺癌、肺腫瘍、肺感染症、自然気胸など
- 縦隔・胸壁・胸膜疾患：縦隔腫瘍、胸壁腫瘍、胸膜腫瘍、肋骨腫瘍、漏斗胸、鳩胸
- 甲状腺疾患：甲状腺がん、甲状腺腫、甲状腺機能亢進症など
- 血管（動脈疾患）：腹部大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、透析内シャント、血管内治療
- 血管（静脈疾患）：下肢静脈瘤、深部静脈血栓症など
- その他：手掌多汗症など

行きます。当院では10年前の1993年よりヘリカルCT診断と縮小手術に積極的に取り組んできました。発見動機別10年生存率は、CT発見例：92.8%、通常の肺癌検診発見例：48.2%、有症状発見例：28.6%、他疾患加療中発見例：30.8%です。より早期に発見することが重要で、そのためにCT検診がいかに重要かお分かりいただけるかと思えます。

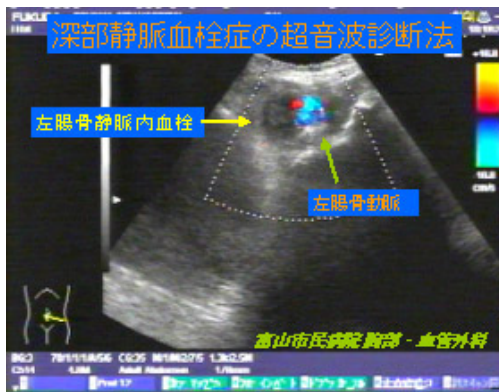
CTには胸部単純写真にうつらないものが見える



富山市民病院 胸部・血管外科

2. 深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症

いわゆる“エコノミークラス症候群”と呼ばれている病気です。下肢（大腿、下腿）、骨盤内の静脈（腸骨静脈）に血栓ができ、下肢が腫れたり、痛みがでたり、また血栓が肺にとんだりします。多くの血栓が肺にとぶと極めて危険な状態（肺血栓塞栓症）となり死亡率は高くなります。これまで欧米人に多く、日本人には少ないと考えられてきましたが、食生活の欧米化、超音波診断装置などの診断技術の進歩に伴い比較的頻度の高い疾患と考えられるようになってきました。妊娠中、外傷・外科手術後の長期臥床、長時間の下肢固定などに脱水などが加わると容易に発生する可能性があります。肺血栓塞



栓症は極めて恐ろしい病気ですので、早期発見、早期治療が重要です。その意味では、超音波診断装置（カラーエコー）は早期診断の有用な武器です。

3. 甲状腺疾患

外科治療の対象となる甲状腺疾患には、機能亢進（ホルモン量が異常に多い）が問題になる疾患と、結節（しこり）が問題になる疾患があります。

結節（しこり）に対しては、超音波検査やCTなどの画像診断と細胞診を行い、良性か悪性かを鑑別することが重要です。結節の約80%は良性で、残りの20%が悪性です。甲状腺の悪性腫瘍には、乳頭癌、濾胞癌、未分化癌、髄様癌の4種類の癌と、悪性リンパ腫があります。一般には進行が遅いので早期に外科治療をすれば、治ってしまう可能性の高い癌です。未分化癌は甲状腺癌全体の2%ぐらいにすぎませんが、発育が急速で悪性度が極めて高い癌で、早期の外科治療が望まれます。結節性病変は早期に治療をすれば完全治癒が可能な病気です。前頸部にしこりを自覚されたら、まず受診されることをお勧めいたします。

紙面の都合で甲状腺の悪性腫瘍を中心にお話ししましたが、当科のホームページには他に当科で扱う多くの病気が写真付きで解説してあります。どうぞご覧になって下さい。

連載企画 旬をたのしむ⑤ 「ブロッコリー」

原産地はイタリアを中心とした地中海沿岸でアブラナ科の野菜です。カリフラワーを品種改良してつくられました。大きなつぼみのかたまりと茎を食用にします。カリフラワーは淡色野菜ですが、ブロッコリーは緑黄色野菜になります。

ビタミンCが豊富に含まれるほか、カロテンや鉄分も多く含んでいます。ビタミンCはウイルスに対する抵抗力を強め、体の細胞を結びつける働きをするコラーゲンの合成を活性にするので、肌を美しく保ちます。また、体内でビタミンAにかわるカロテンは、体内の粘膜を保護する働きがあります。食物繊維も豊富でコレステロールの吸収を阻害し、動脈硬化や便秘予防に有効です。

★管理栄養士からアドバイス

ブロッコリーの旬は冬から春先にかけてです。中央がこんもりとしていて、つぼみがちぢまっているものが良質です。また、緑が濃いものは、柔らかくて甘みもあります。花が咲く前のものを選びましょう。

茹でる場合は小房に分け、塩少々を入れた多量の湯で手早く茹で、冷水にとって冷めます。サラダや付合わせに使うほか、グラタン、シチューなどに使います。茎は薄きりにして炒め物にするとよいでしょう。茎の部分に栄養素が集まっているので、捨てずに利用しましょう。

★《注意すること》

血栓症の人で「ワーファリン」という薬を服用している場合は、薬が効かなくなるので、多食は禁物です。



ブロッコリーの栄養(100g中)

エネルギー	33kcal
たん白質	4.3g
脂質	0.5g
食物繊維	4.4mg
カリウム	360mg
カルシウム	38mg
リン	89mg
鉄	1.0mg
亜鉛	0.7mg
カロテン	810mg
ビタミンB1	0.14mg
ビタミンB2	0.20mg
ビタミンC	120mg
ビタミンE	2.5mg

■連載企画 病棟だより⑨「西病棟4階」

西病棟4階は、主に消化器疾患で手術を受けられる患者様の病棟です。入院される方は、手術や病気に対してさまざまな不安を抱えておられます。患者様の気持ちを知る事はとても難しい事ですが、私達は良い聞き手となり、手術に対する不安な心が少しでも和むようお手伝いしています。手術後は回復・退院に向けて「今私達が患者様に出来ることは何か」と常に考えながら、それぞれの患者様に合わせた看護を提供できるよう努力しています。

1週間の内、私達が最も緊張感に包まれるのが消化器外科医でもある院長の回診です。それはまるで「白い巨塔」のよう・・・？最初は、大勢の医師がベットサイドに訪れることで患者様もビックリされるようです。しかし、「院長の柔和な笑顔や、話し方が心を和ませてくれる。」「腹を触ってもらっただけで治ったような気持ちになる。」といわれ、心待ちにされています。私達も院長のように心待ちにされる看護師となれるようスタッフ全員が頑張っています。

「外科」というと、手術・血・キズと怖いイメージをお持ちではないでしょうか？病院ですから、緊迫した空気が流れ、トイレも食事も忘れて必死に患者様と向き合



西病棟4階のスタッフ

なければならないときもあります。しかし、本当は「早く治って欲しい。」「少しでも気持ちを和らげてあげたい。」と患者様を思う「心」を大切にできる心優しい女性と、バイタリティー溢れる医師の集まりなのです。今後も、皆様と共に、明るく元気に病気と闘いたいと思っています。

■連載企画 検査値の見方⑦「検査値の変動と精度管理」

検査値の見方⑥では正常値・基準値についてお話ししました。今回は検査結果に影響をあたえる要因についてお話ししようと思います。一言で検査値の変動といってもその原因は様々です。大きく、被験者(患者さん)の方の要因と測定(検査)側の要因とに大別できます。同じ検体(血液サンプル)がいつも一定の測定値になるように、そしてそれが常に正しい値であるように日々精度管理が行われています。ちょっとした気温の変化が測定値に影響することもありますし、きめ細やかな測定機器の手入れを行わなければいけません。当院では検査部の努力のかいあって、精度管理の全国調査ではいつも好成绩をおさめており、皆様に信頼していただける検査値を提供しております。

このように誤差のない測定が行われていても、食事の影響で血糖値が高くなるように私たち被験者の要因で検査値は変動します。例えばご自分の検査値が朝と晩で違っているはご存知でしょうか。貧血の時に検査する血清鉄は午前中高く午後は低くなります。赤血球数やヘモグロビンは早朝最低値ですが、朝食後に最高値に達します。一方、白血球数は早朝最低値ですが徐々に増加して夜間に最高値となります。尿酸は朝に高く、夜間は低くなりますし、一般にホルモン関係の検査値にもこのような日内変動が見られます。

横になっている時に比べ立っているだけで総タンパクは高くなりますし、運動するとALT, AST, LDH, CKなどの酵素が高くなります。その他、飲酒によりγ-GTなど肝機能に影響が出ますし、中性脂肪や尿酸値が高くなります。喫煙では好中球やヘモグロビンが高くなります。

あまり注意がはらわれていませんが、このように検査値は生理的な要因でいつも変動しているのです。



「秋の裏磐梯」 村沢 京子さん作

■国際医療交流

★富山市医師親善訪問団の派遣について

富山市と友好都市提携をしている米国ノースカロライナ州ダーラム市にある名門デューク大学医療センターへ樋上内視鏡科部長と岡部新生児治療科部長が訪問します。10月23日より11月3日までの間、医療交流と国際親善を行う予定です。ダーラム市にはデューク大学をはじめ高水準の医療技術を有する5つの機関が集積していることから「全米の医学都市」と呼ばれており、市民病院からの派遣は今回で4回目となります。

★富山市と友好都市提携をしている中国河北省秦皇島市の秦皇島市第一医院から王副院長（産婦人科）と魏主任医師（腎臓内科）が10月25日に来院されました。11月17日まで当院で研修を受けられます。富山市民病



正面玄関ホールでお二人をお出迎え



院と秦皇島市第一医院は、昭和61年に医学交流協議書を締結して以来、医師の相互交流を行っており、秦皇島市からの受け入れは今回で10回目となります。

■連載企画 病院を支える専門職⑤

「高度医療を支える病院図書室」

病院図書室司書 高田 幸子

病院の図書室と聞けば最近、新聞等で紹介された患者さまの「さんぽ図書館」を思い浮かべる方が多いと思います。私の勤務する図書室は病院職員（医師、看護師、コメディカル）のための専門図書室です。場所は診療棟の3階にあり、専門書の蔵書数は約4000冊、製本雑誌は約7000冊、毎月の受入れ雑誌は和雑誌110タイトル、洋雑誌69タイトルです。

図書室にはパソコン5台、FAX、コピー機があり、医師、看護師など職員の方が勉強や調べものをするための環境は整備されています。看護師の方たちの看護研究の締め切りが近づく3つの机では足りなくなる時もあります。開館時間は8時半から午後5時までですが、守衛室で鍵を借りれば24時間利用できます。日中、診療に忙しい医師の方は深夜に利用されています。私の仕事は、新着雑誌の受入れ、配架、図書の貸出し、蔵書整理、他館との医学文献の相互貸借、職員へのレファレンス業務、新刊図書及び新着雑誌の案内など多岐に亘っています。また、図書室を利用される職員の方に少しでもやすらぎを感じていただこうと思ひ庭の花を生けたり、時間のある時はコーヒーのサービスをして病院のオアシスになるように心掛けています。

私が勤務を始めた9年前は、パソコンは2台で医学文献の検索も冊子体からCDROMに移行したばかりの頃でした。今ではインターネットにより検索語を入力するだけですぐに必要な医学情報が取り出せるようになりました。また、院内のLAN（サイボウズ）

が設置され医師の方たちも各病棟・外来の看護師の方たちも各自のパソコンから図書室へアクセスできるようになりました。新着雑誌の特集記事の案内等もサイボウズの「図書室の掲示版」で紹介しています。このようにインターネットにより医学情報の公開はどんどん広がっています。

これからの病院図書室の役割は、職員の方へは最新の医学情報の提供を、患者さまへは「さんぽ図書館」を通して医療情報の提供を、また地域の方へは健康のための情報の提供を担うことになると思います。



病院図書室の高田さん

■特別寄稿 「富山市民病院新築移転から満21年を迎えて」 副院長 千鳥 哲也



富山市の中心である大手町から、ここ今泉北部町に新築移転、開院したのは、昭和58年10月1日でした。まず軽症の入院患者さんは退院していただき、患者さんの数を減らしました。残った患者さんのなかには絶対安静の重症な方々もおり、移動及びその前後に病状が悪化しないように、細心の注意を払いました。引越しはトラ

ブル無く非常にスムーズに終わりました。院内は廊下が広く、明るく、医療機器も最新の強力なものでした。われわれ職員も良い施設や機器にて、患者さんの診療ができるので、自信と誇りを持ち診療に打ち込みました。多数の患者さんが急激に、爆発的に来ました。ちょうど新しい大型ショッピングセンターに多くの人々が集まるように押し寄せてきました。

急性期の患者さんが主で、外科系では手術を希望してくる人が多いようでした。お産数も移転1年後では、今の4倍ほどなり、患者さんは望んだ部屋へ入居できず、スタッフの補充が不十分で、手厚い看護から程遠いもの感じました。その後、爆発的な患者さんの集中

は徐々に是正されました。次の問題は、不良債務（減価償却を超えた債務）が年々発生し、このまま放置すると大変なことになるということで、助役をはじめ市の幹部の方々が心配して、債務解消のために数回会議を開催し、収入を増し、支出を減らす様々のアドバイスを実行し、間もなく不良債務は解消しました。最近では、黒字を計上しています。これは人件費の抑制と減価償却費の減少によるところが多いようです。

10年間は病院の増改築はできませんでしたが、その後は時代の波に遅れないように、必要最低限の増改築をしています。MRIやCTなど高度医療機器を収容するのに必要な放射線関係の、ドックや内視鏡拡大充実や小児外科・胸部血管外科などの独立外来確保のため、救急外来診療の患者増加に対応するため、血液浄化・感染症病床の時代に応じた増改築などです。今のところ建物全体のバランスは保たれており、美観を損ねたり、採光が悪くなり暗かったり、動線が悪くなったりする違和感はありません。

今後はぜひ入院患者さんの快適環境を考え、個室を増やした、広々とした空間でゆったり過ごせ、古くなった分だけ、部屋の差額を安価に設定した、改築をしたいものです。

■連載企画 医療相談Q&A⑤ 「訪問看護」



今回は「訪問看護」についてお伝えします。まず尋ねられることは、「看護と介護どう違うの？」ということです。介護は前回お伝えしましたが、身体援助と、家事援助を中心に行います。看護は療養上のお世話や、診療の補助などの援助を行います。

サービス内容

◎療養上のお世話

- ・清潔保持のための入浴介助や清拭、洗髪
- ・自分でできることを活かしながら行なう食事や排泄の介助
- ・病状の観察

◎医師の指示のもとに行なう診療の補助

- ・褥瘡や創傷の処置
- ・中心静脈栄養や経管栄養、尿道カテーテルなどのライン管理
- ・在宅酸素療法、腹膜還流、人工呼吸器などの管理
- ・導尿、浣腸、摘便

◎リハビリテーション

◎精神的支援

◎利用者や家族への介護支援や相談、指導

◎他のサービス機関との連携や調整

したがって訪問看護は、在宅で療養される方々にさまざまなレベルの健康や生活の障害や困難から生じる多様なニーズに対して、訪問看護師によって提供される専門的な看護サービスです。退院されるときに、医療的な処置や全身的な健康管理が必要な方など、病院で行なわれていた看護を継続的に受けたいときはこのサービスが必要です。また訪問看護は介護保険でも医療保険でも受けることができるので、介護保険の対象外の方、妊産婦さんや子供さんも受けることができます。（利用料は保険によって違います）

利用時間については、介護保険の場合介護度の中でご希望に応じて決めることができ、時間の長さによって利用料が決まります。医療保険の場合は1時間前後の時間内で利用でき、利用料は保険の自己負担分（割合）と利用回数に応じて決まります。詳しくは医療相談室または地域の居宅介護支援事業所でお尋ね下さい。



■新任医師紹介



寺崎 禎
(てらさき ただし)
整形外科医長
平成5年金沢大学医学部卒

- 専門領域：整形外科一般
骨軟部腫瘍
- 資格・学会：
日本整形外科学会専門医



高田 麻衣子
(たかた まいこ)
内科医師
平成15年卒

- 専門領域：一般内科
- モットー・患者さんへの一言：
患者様の苦痛や不安を軽減できる医療を目指します。よろしくお願ひします。



吉岡 克人
(よしおか かつひと)
整形外科医師
平成13年卒

- 専門領域：整形外科一般
- モットー・患者さんへの一言：
誠実な対応を心がけています。



高森 映子
(たかもり えいこ)
麻酔科医師
平成15年富山医科薬科大卒

- 専門領域：内科一般
- 資格・学会：日本内科学会
- モットー・患者さんへの一言：
患者さんにやさしい麻酔ができるように努力します。

■解説 患者権利 ②平等な医療を受ける権利と最善の医療を受ける権利

富山市民病院の患者権利章典

すべての患者さんは、平等で、最善の医療を受ける権利が保証されています。その基盤として、私達は患者さんの医療を受ける上での基本的な権利を守ります。

医療は、患者さんと医療者と対等の関係の中で、両者の信頼関係に基づいて、協同して行われるものであり、患者さんに主体的に参加していただく必要があります。

富山市民病院は市民の健康と福祉の向上に寄与することを使命としており、ここに「患者権利章典」を制定し、患者さんの医療への主体的な参加を支援します。

1. 平等な医療を受ける権利

患者さんは、国籍・経済的社会的地位・年齢・性別・病気の種類などにかかわらず、適切な医療を受ける権利を有します。

2. 最善の医療を受ける権利

患者さんは、常に一般的な医学水準に基づいた安全で、効果的な医療を受ける権利を有します。患者さんは、医師および医療機関を選択し、また転医する権利を有します。転医に際しては、それまでの診療に関する情報および記録の写しの交付を求める権利を有します。

1. 平等な医療を受ける権利
2. 最善の医療を受ける権利
3. 十分な説明を受ける権利
4. 情報開示を要求する権利
5. 自己決定する権利
6. 個人情報を守秘される権利



■今月のふれあいギャラリー（玄関ホール2階）

10月21日より、「パステル画」（熊西慶子さん作）を展示しています。待ち時間などに気軽にお立ち寄り下さい。尚、11月12日から二人展「絵手紙」と「書道」（森下一美さん、草野順子さん作）を展示する予定です。また、10月4日より展示していました水彩画「私の絵日記」（石金和子さん作）は10月20日で終了しました。ありがとうございました。

■今月のイベントと院内の動き

○10月6日（水）：富山全日空ホテル宿泊ゲストリレーション担当の藤崎仁美先生を講師にお招きして、『満足から感動へ』をテーマに接遇講演会が行われました。6つのSを毎日意識し実行していけばよいと教わりました。

- ①Smile（こころに残る印象的な笑顔）
- ②Smart（優雅な気分にさせる）
- ③Speedy（絶妙なタイミングで時間を感じさせない）
- ④Sincerity（まさかこんなことまでと期待をはるかに超えた対応）
- ⑤Study（自己啓発をし豊かな人間性を感じとってもらえる対応）
- ⑥Speciality（徹底したプロ意識）



接遇講演のようす
テーマは『満足から感動へ』

○10月13, 14日：不在者投票が行われました。10月17日執行の富山県知事選挙と八尾町長選挙の不在者投票が、入院中の方々を対象に行われました。13日は自分で不在者投票所（病院講堂）に来られることが可能な方を対象に行い、61の方が投票されました。また14

☆お知らせ☆

本誌は富山市民病院メールマガジンでお届けした内容をリメイクして編集しております。電子メールアドレスをお持ちの方は、この機会にぜひ電子メールアドレスをご登録下さい。お申し込みは富山市民病院ホームページ（<http://www.tch.toyama.toyama.jp/>）下段左のウェブサポーター欄をご覧ください。



不在者投票

日は歩行が困難な方を対象に職員が病室に伺い64の方が投票されました。市民病院では、入院中の方々にも投票の機会を最大限に確保し、さらなる利便性の向上を図ってまいります。

○10月23日（土）：富山市民病院ふれあいセミナーが行われました。大勢の方々にご来場いただきまして、有り難うございました（次号に特集予定）。

総編集長：病院長 泉 良平
編集部：齋藤勝彦・家城岩松・石森貞夫
山本和子・森川知俊

発行：富山市立富山市民病院広報委員会
〒939-8511
富山市今泉北部町2-1

電話 076 (422) 1112
Fax 076 (422) 1371

<http://www.tch.toyama.toyama.jp/>



富山市立 富山市民病院



■編集コラム

ごく普通の一市民の運動がきっかけで法律が改正された。戸籍法施行規則である。今回の改正で488字の漢字が人名用漢字として新たに使用可能になり、こどもの名前に「莓（いちご）」などが使えるようになったのだ。

潜水士の父尾崎さんが「大海原を進む船のようにたくましく舵をとって」と願って子供に命名した「舵（かじ）」、実は「舵」君が生まれたときにはこの漢字は使えなかったのだ。「子の名には常用平易な文字を用いなければならない」という理由からである。「名前は我が子への最大のプレゼント」という尾崎さんの強い思いから、法務省へ何度も手紙を送り、約8000人分の署名を集め、そして当時の森山法相と面会した。このような2年半の活動が今回の法律の改正のきっかけになったことはあまり知られていないと思う。活動を始めた頃はとても国を動かせるとは思えなかった尾崎さん、「まだまだ世の中、捨てたもんじゃない」と思ったという。

法律にせよ、市民生活にせよ、病院にせよ、自分一人ではとても、とあきらめてしまうことは多々あると思いますが、壊れないと信じていた巨大な壁が一点のほころびから崩れ始めることもあるのです。横っちょにちょっと触れるだけで、動くはずのない巨石が動き出すきっかけになることもあるのです。